

2025年3月期 第3四半期決算 投資家向け説明会

2025年2月12日

ソフトバンクグループ株式会社



免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor) をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設定又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」）を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4	FY24/Q1	FY24/Q2	FY24/Q3	FY24/Q4
1米ドル	138.11	145.44	147.00	147.87	156.53	150.26	151.32	
期末レート	2023/6月末	2023/9月末	2023/12月末	2024/3月末	2024/6月末	2024/9月末	2024/12月末	2025/3月末
1米ドル				151.41			158.18	

略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「(株)」を省略している箇所がある。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.
LatAmファンド または ラテンアメリカ・ファンド	SBLA Latin America Fund LLC
SVF	SVF1、SVF2およびLatAmファンド
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
Arm または アーム	Arm Holdings plc
Tモバイル	Sprintと合併後のT-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
アリババ	Alibaba Group Holding Limited

その他

本資料において端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。

財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK（LINEヤフーおよびPayPayをはじめとする子会社を含む）、アーム、SVF1、SVF2、LatAmファンド等です。



ASI実現をグループ総力で推進

Stargate

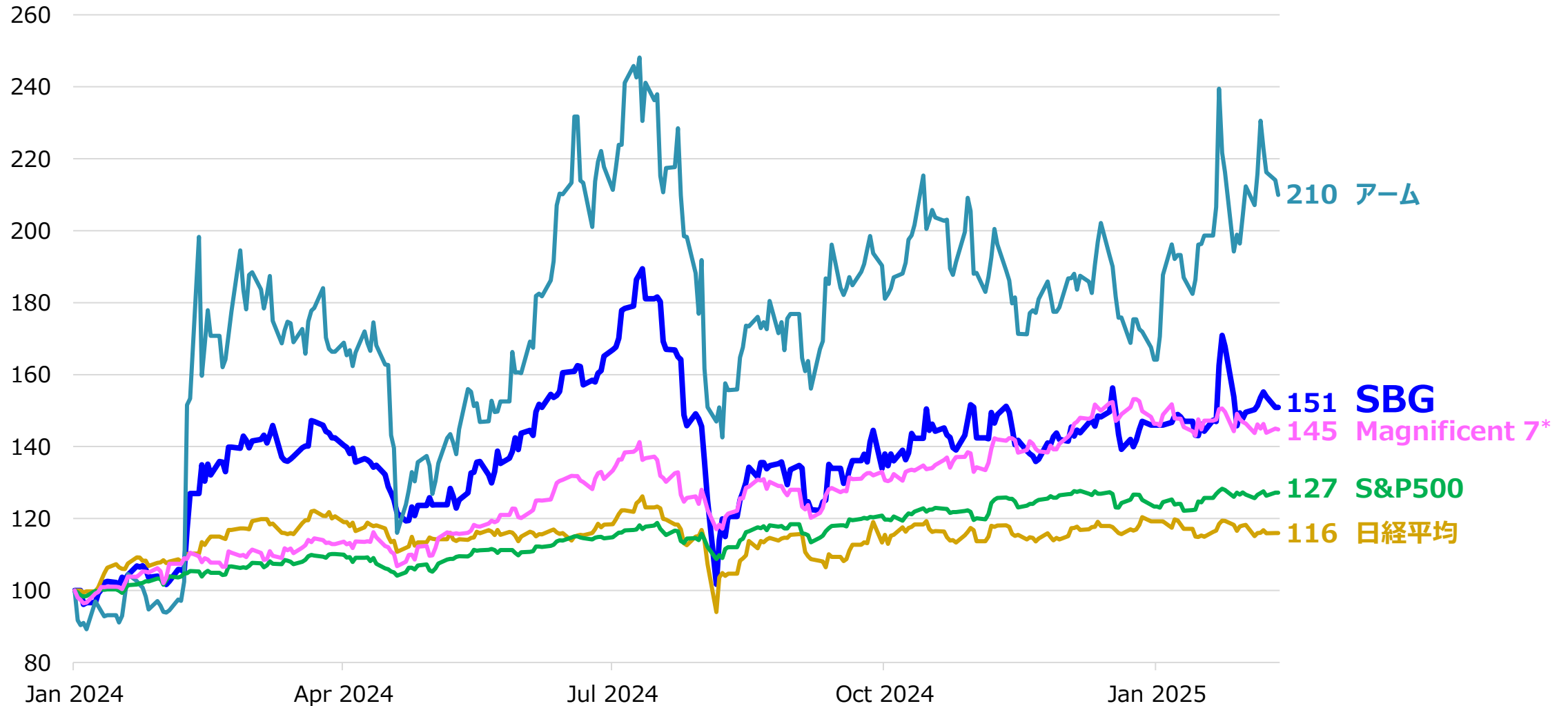
A glowing blue globe is the central focus, held in a hand. The globe is surrounded by various data and technology icons, including a globe, a person, a gear, and a network of lines. The word "Cristal" is written in large white letters across the center of the globe. The background is dark blue with a grid pattern.

Cristal

クリスタル・インテリジェンスは仮称であり、正式名称ではない。
また本資料に記載された情報は現時点の計画に基づくものであり、
仕様やその他条件等は正式リリースまでに変更される可能性がある。

株価推移 (2024年～)

AI関連銘柄に注目が集まる中、日米の株価指数をアウトパフォーム

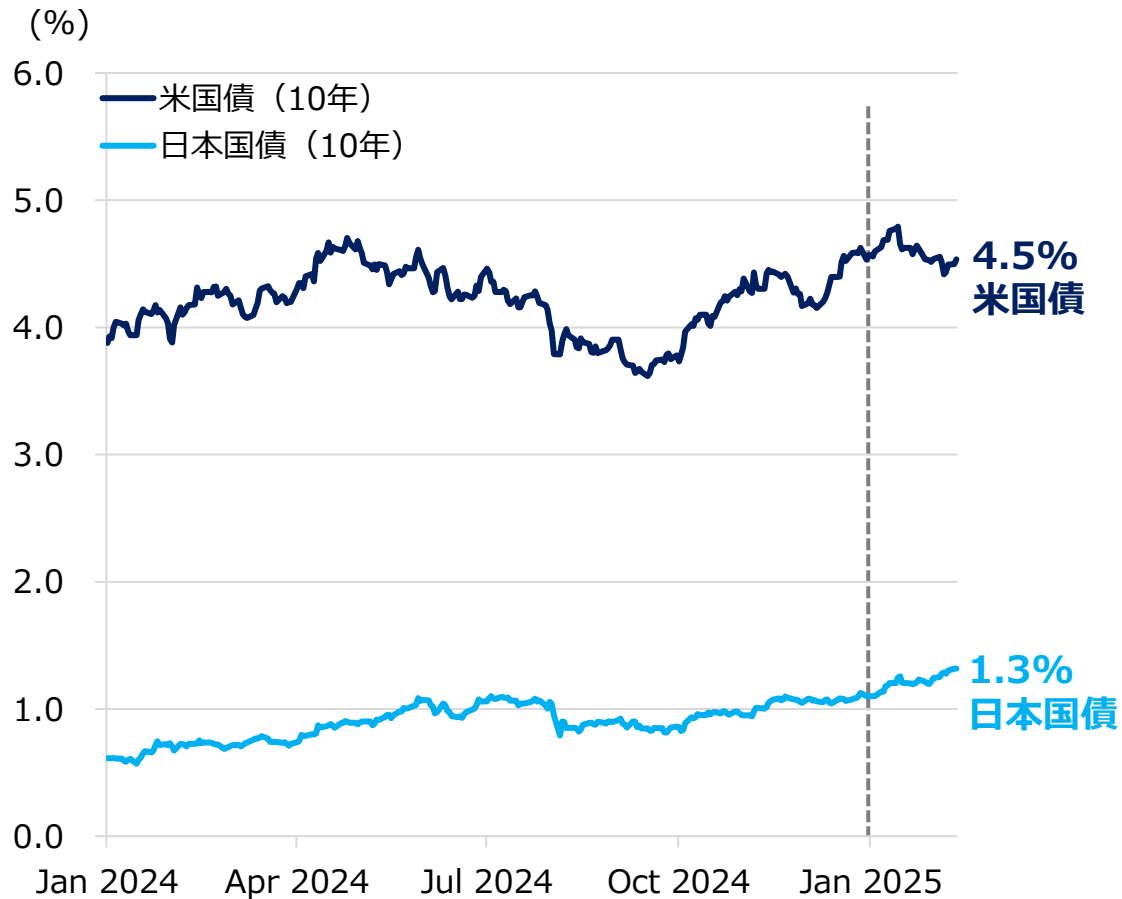


(注) Bloombergを基に当社作成。2025年2月11日時点。2024年初を100として指数化
 * Magnificent 7 : Alphabet, Amazon, Apple, Meta, Microsoft, Nvidia, Teslaの時価総額平均

金利・為替 (2024年～)

米国の金利・政策の先行き不透明感により、為替のボラティリティは増幅
日銀の追加利上げ観測から円金利は継続して上昇

日米金利



為替 (ドル円)



(注) Bloombergを基に当社作成。2025年2月11日時点

FY2024Q3 財務サマリー

LTVは低位に推移。マージンローン増枠およびリテール債発行により手元流動性を拡充

NAV・LTV	<p>NAV 29.3兆円（前四半期比 +0.3兆円）</p> <p>LTV 12.9%（前四半期比 +0.4ポイント）</p> <p>純有利子負債 4.3兆円（前四半期比 +0.2兆円）</p> <p>手元流動性 5.0兆円^{*1}（前四半期比 +1.2兆円）</p>
財務	<p>マージンローンおよびハイブリッドローンを増額。リテール債を新規調達</p> <ul style="list-style-type: none"> - アーム株式を活用したマージンローン：\$13.5B（+\$5.0B増枠、増枠分は全額未使用） - ハイブリッドローンの増額リファイナンス：1,350億円（+510億円） - 国内リテールシニア債発行：3,500億円
投資	<p>Q3投資額^{*2}：\$0.6B</p> <ul style="list-style-type: none"> - （1月）OpenAIへの追加出資：\$1.5B <p>順次、Stargateプロジェクト始動・OpenAIとの国内JV設立</p>
株主還元	<p>自己株式の取得</p> <ul style="list-style-type: none"> - 取得総額（～2025年1月末）：2,099億円（取得枠：5,000億円）

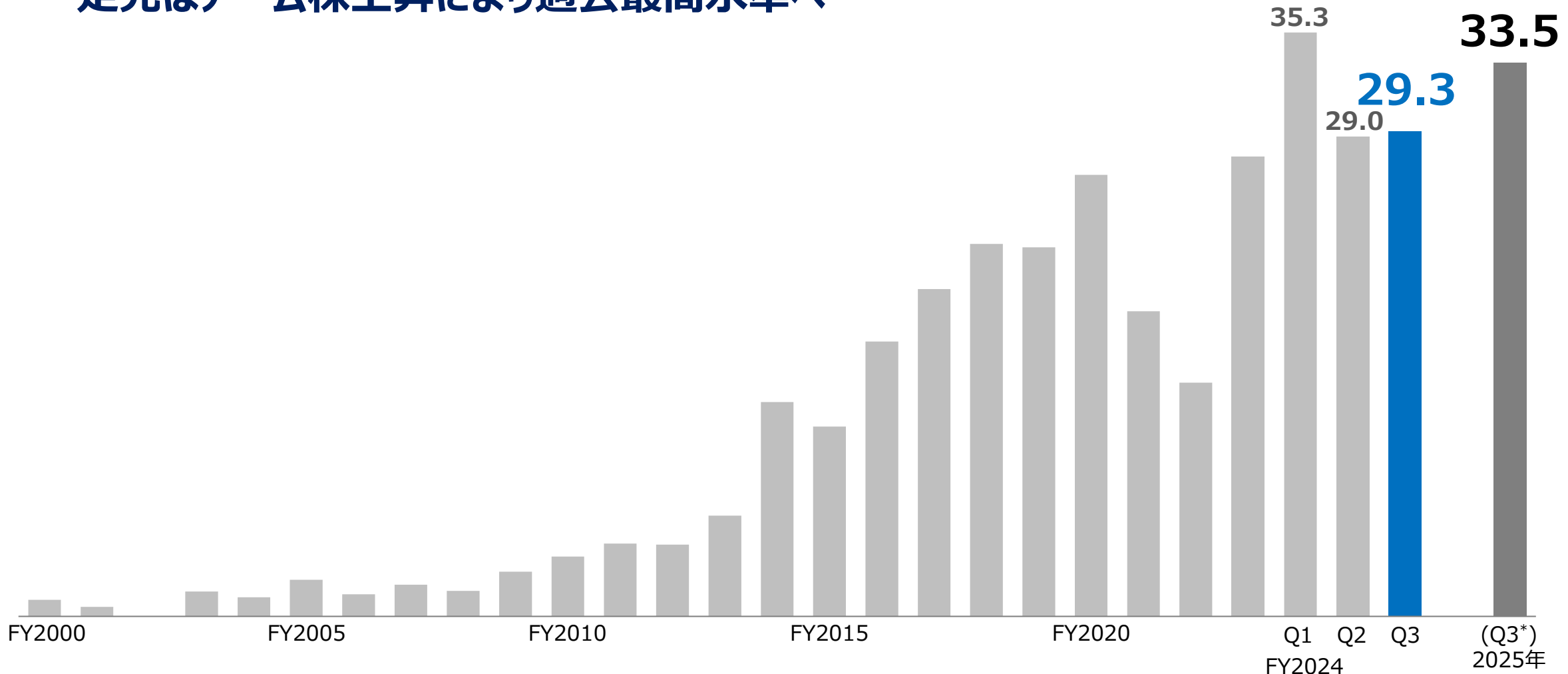
*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + 借入枠の未使用金額（コミットメントラインおよびアーム株式を活用したマージンローン）。2024年12月末時点でコミットメントラインは全額未使用（9,001億円相当）、アーム株式を活用したマージンローンのうち\$5.0B（7,909億円相当）は未使用。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物ならびに債券投資は含む。）。2024年度Q3に完了したSVF2への投資移管に伴う資金回収見込み額を含む

*2 SBGおよび主な100%子会社からの投資額（米国債への投資を除く） + SVF1、SVF2およびLatAmファンドにおける新規および既存投資先への追加投資の合計額。株式交換を含む。SVF内での移管およびSBGからSVF2への移管に伴う投資額を除く（詳細は2024年度Q3決算短信16pを参照）。2024年度Q3にSVF2が\$280Mで取得したPayPayの新株予約権をはじめとするデリバティブへの投資額を含まない。

NAVの推移

高水準を維持
足元はアーム株上昇により過去最高水準へ

(兆円)

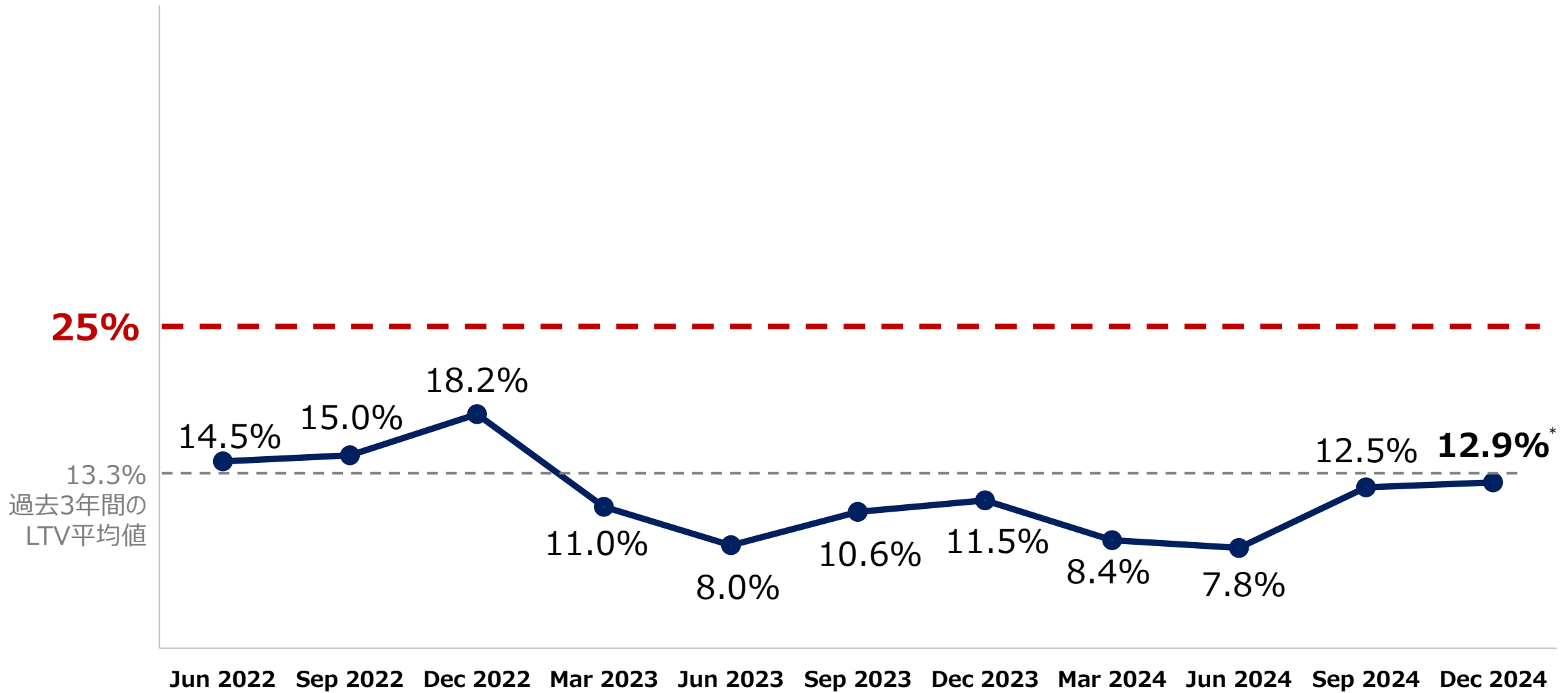


(注) 各年度末時点
 • NAV (Net Asset Value : 時価純資産) = 調整後SBG単体保有株式価値 - 調整後SBG単体純有利子負債
 • NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない。
 * 2024年12月末時点の資産・負債構成は変わらない前提で、2025年2月11日時点の株価・為替レートを適用して試算した参考値

2月11日時点の
株価・為替レートを適用

LTVの推移

引き続き余裕のある水準で推移



• 各四半期末時点の数値を記載

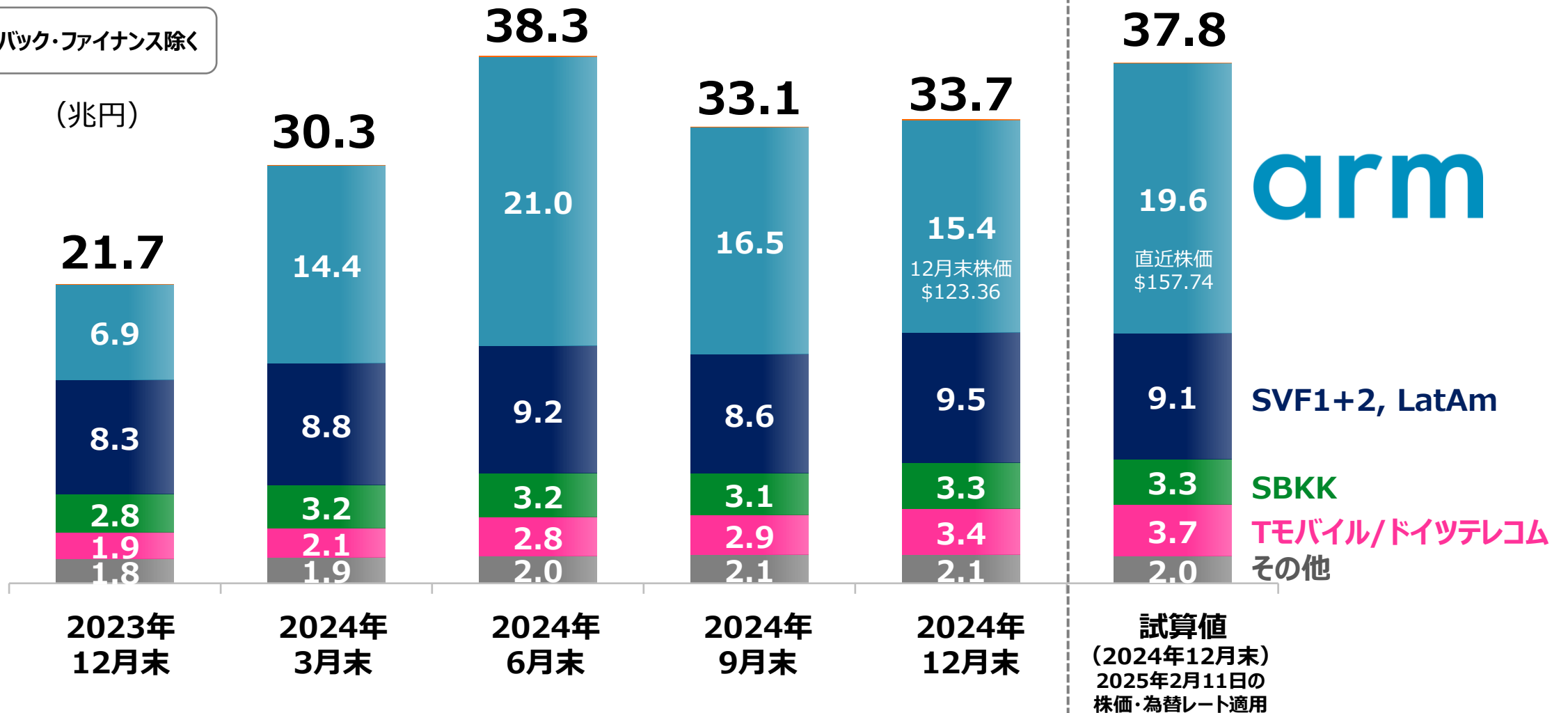
* 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

保有株式価値推移

Q3はアーム株価下落も、円安影響などにより保有株式価値は横ばい
一方、年明け以降はアーム株価上昇により、保有株式価値は拡大

アセットバック・ファイナンス除く

(兆円)

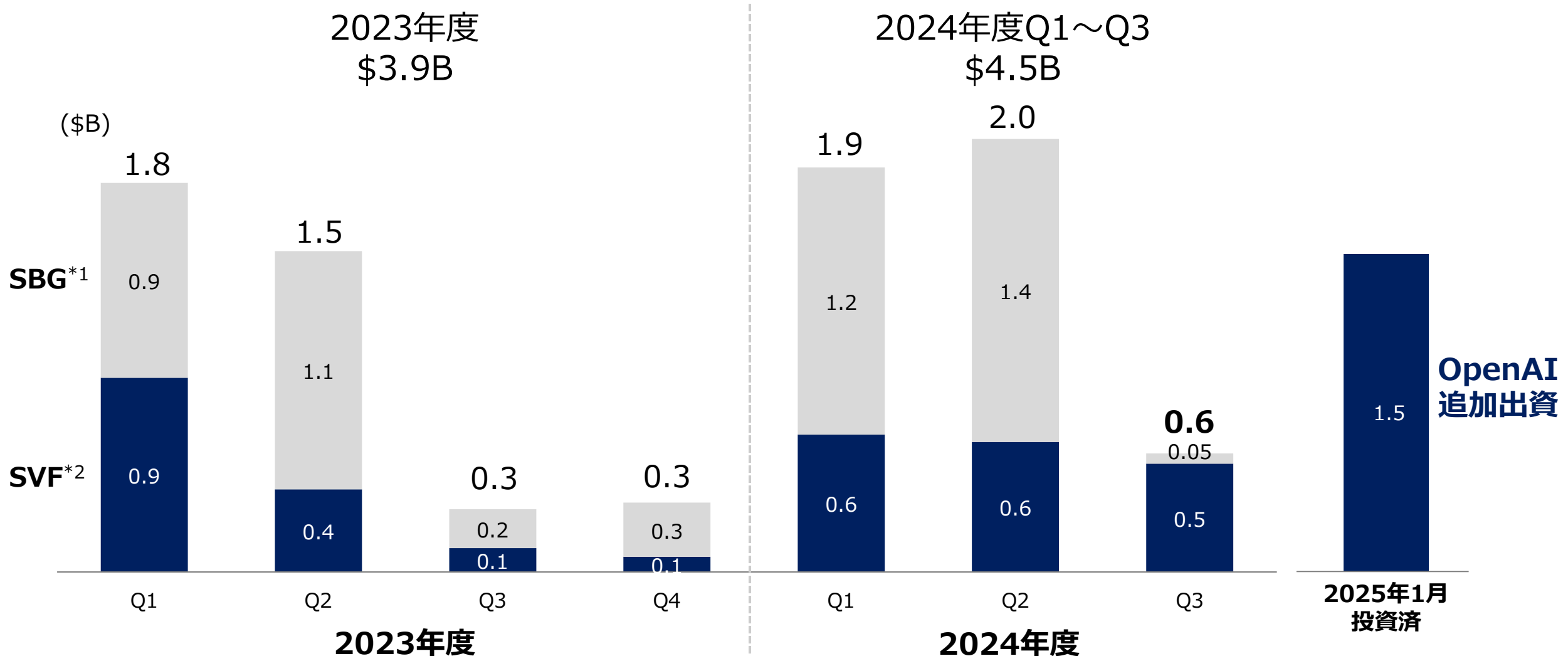


保有株式価値の詳細は、各四半期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendixを参照

試算値 (2024年12月末) : 2024年12月末時点の資産・負債構成は変わらない前提で、2025年2月11日時点の株価・為替レートを適用して試算した参考値であり、将来の値を保証・示唆するものではない。

投資額の推移 (SVF+SBG)

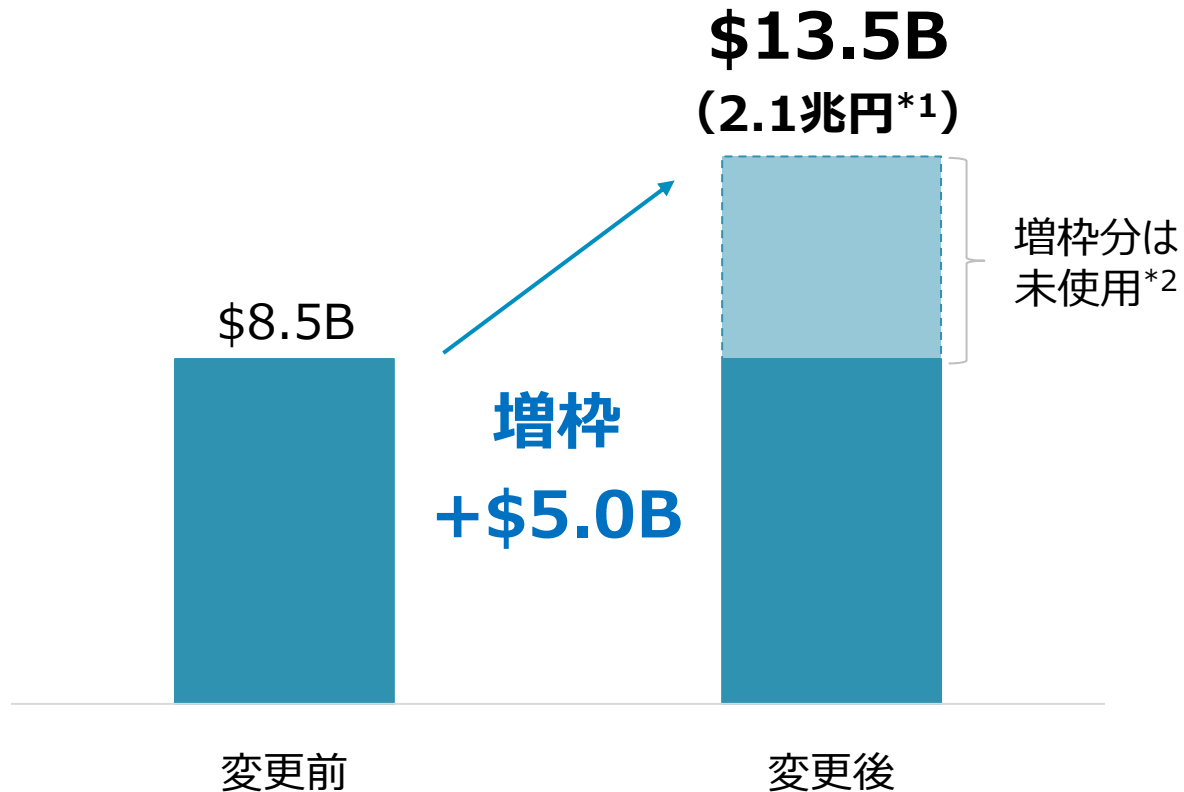
Q3は\$0.6Bの投資を実行



*1 SBGおよび主な100%子会社からの投資額（米国債への投資を除く）+ Berkshire Grey（2023年度Q2）、Balyo（2023年度Q3）、SBE Global（2024年度Q2）およびGraphcore（2024年度Q2）の子会社化に伴う外部株主への支出額と各社が保有していた現金及び現金同等物との差額。グループ内取引に伴う投資額を除く。

*2 SVF1、SVF2およびLatAmファンドにおける新規および既存投資先への追加投資の合計額。株式交換を含む。SVF内での移管およびSBGからSVF2への移管に伴う投資額を除く（詳細は2024年度Q3決算短信16pを参照）。2024年度Q3にSVF2が\$280Mで取得したPayPayの新株予約権をはじめとするデリバティブへの投資額を含まない。

アーム株式を活用したマージンローン ノンリコースファイナンスを\$5B増枠



**増額および満期延長を実現
個別株のマージンローンとして
史上最大級**

上場後の好調な株価を背景に
金融機関からのサポートは更に拡大

*1 1ドル=158.18円にて換算

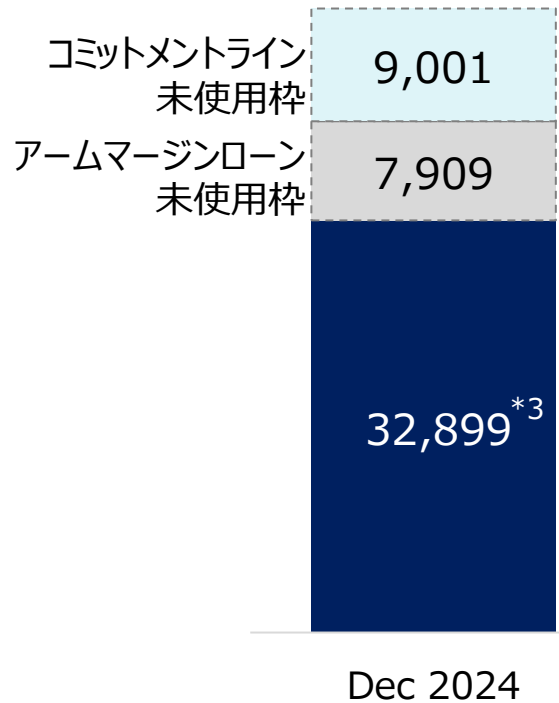
*2 2024年12月末時点

手元流動性と今後の社債償還

社債償還2年分を大幅に超える潤沢な手元流動性を確保

手元流動性

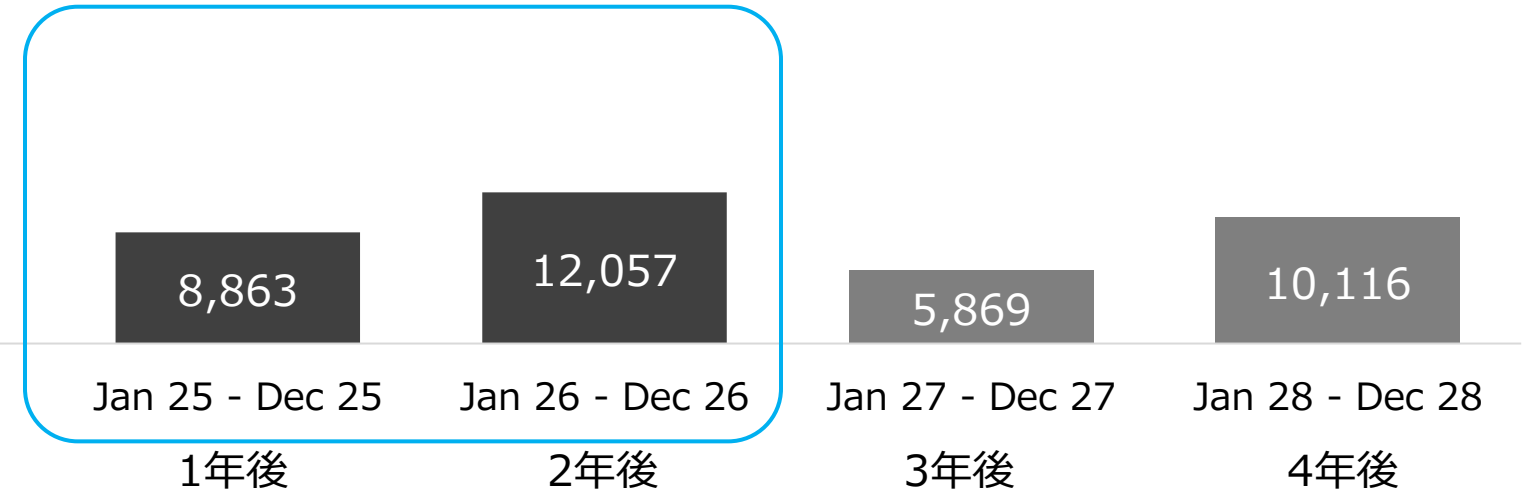
5.0兆円^{*1}



社債償還スケジュール^{*2}

(億円)

今後2年間の社債償還 (2.1兆円)



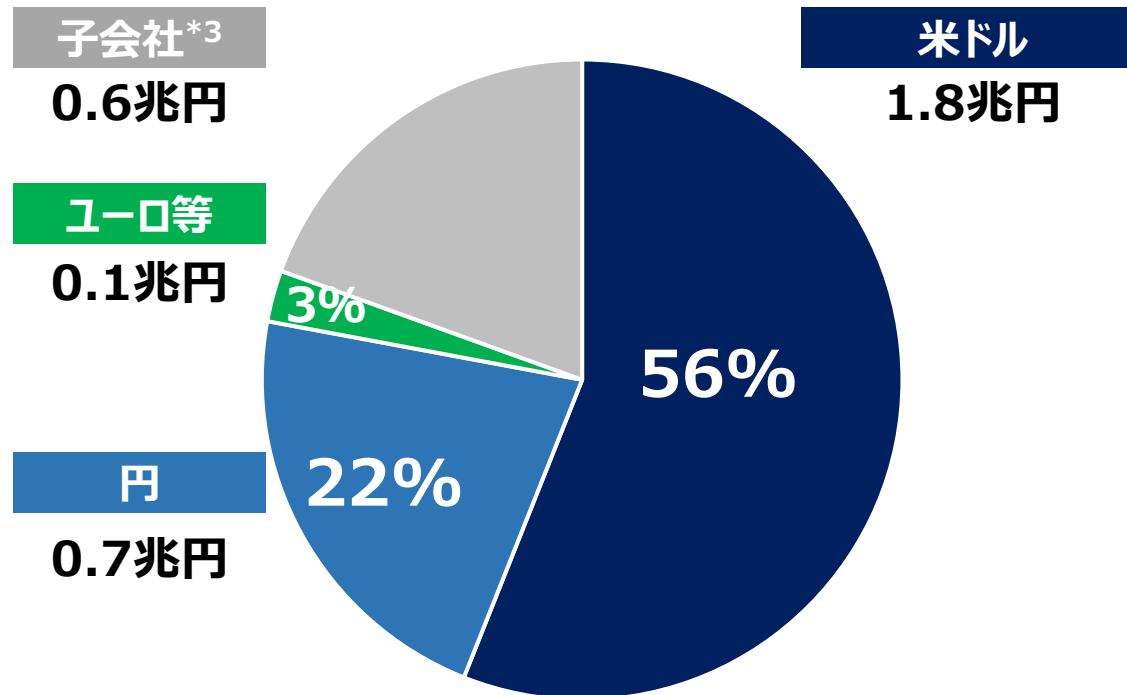
*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + 借入枠の未使用金額 (コミットメントラインおよびアーム株式を活用したマージンローン)。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物ならびに債券投資は含む。)

*2 2024年12月末時点発行残高 *3 2024年度Q3に完了したSVF2への投資移管に伴う資金回収見込み額を含む

手元流動性の通貨内訳

足許の高金利を捉えた運用を実行

手元流動性 **3.3兆円***1
 (+借入枠の未使用金額：1.7兆円*2)



米ドル平均運用利回り 4.8%*4

預金	4.3%
債券	5.3%

(参考*5) FF政策金利上限 4.5%
 米国10年国債利回り 4.6%


*1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物および債券投資は含む。)
 *2 コミットメントラインおよびアーム株式を活用したマージンローンの未使用枠の合計額。2024年12月末時点でコミットメントラインの全額 (9,001億円相当) およびアーム株式を活用したマージンローンの借入枠のうち\$5.0B (7,909億円相当) は未使用
 *3 2024年度Q3に完了したSVF2への投資移管に伴う資金回収見込み額を含む
 *4 SBG単体手元流動性に含まれる米ドル預金および米ドル債券投資の加重平均利回り *5 2024年12月末時点。米国10年国債利回りはBloombergより取得

国内リテールシニア社債の発行

引き続き個人投資家からの旺盛な需要を確認

第64回 国内リテールシニア社債 (福岡ソフトバンクホークスbond)

発行額	3,500億円
発行日	2024年12月11日
年限	7年
利率	3.15%

日経ヴェリタス

ディール・オブ・ザ・イヤー2024

**第63回 国内リテールシニア社債
 5,500億円 6月発行**

ベストディール受賞

個人投資家向け社債部門

11回目

景品：
タンブラー



FY2024 調達・運用方針

来年度以降の調達は市場環境を注視しながら検討

商品	方針	実施状況
国内債	主にリファイナンスを想定	リファイナンスは完了 リテール債を活用した手元資金積上げを実施 来年度の資金需要に備えた調達を検討
外債	主にリファイナンスを想定	
銀行ローン・短期性調達	コミットメントライン・金銭信託・CPは継続的にロール	コミットメントラインは増額更改完了 金銭信託・CPも継続的にロール
アセットバック・ファイナンス	上場株23.3兆円*を活用した調達の多様化を常に検討	検討を継続 アーム株式を活用したマージンローンを増額
ハイブリッド・ファイナンス	主にリファイナンスを想定	リファイナンスは完了 2026年を見据えた検討を開始
余資運用	MMF・国債・社債など運用の多様化を継続	多様な運用を継続

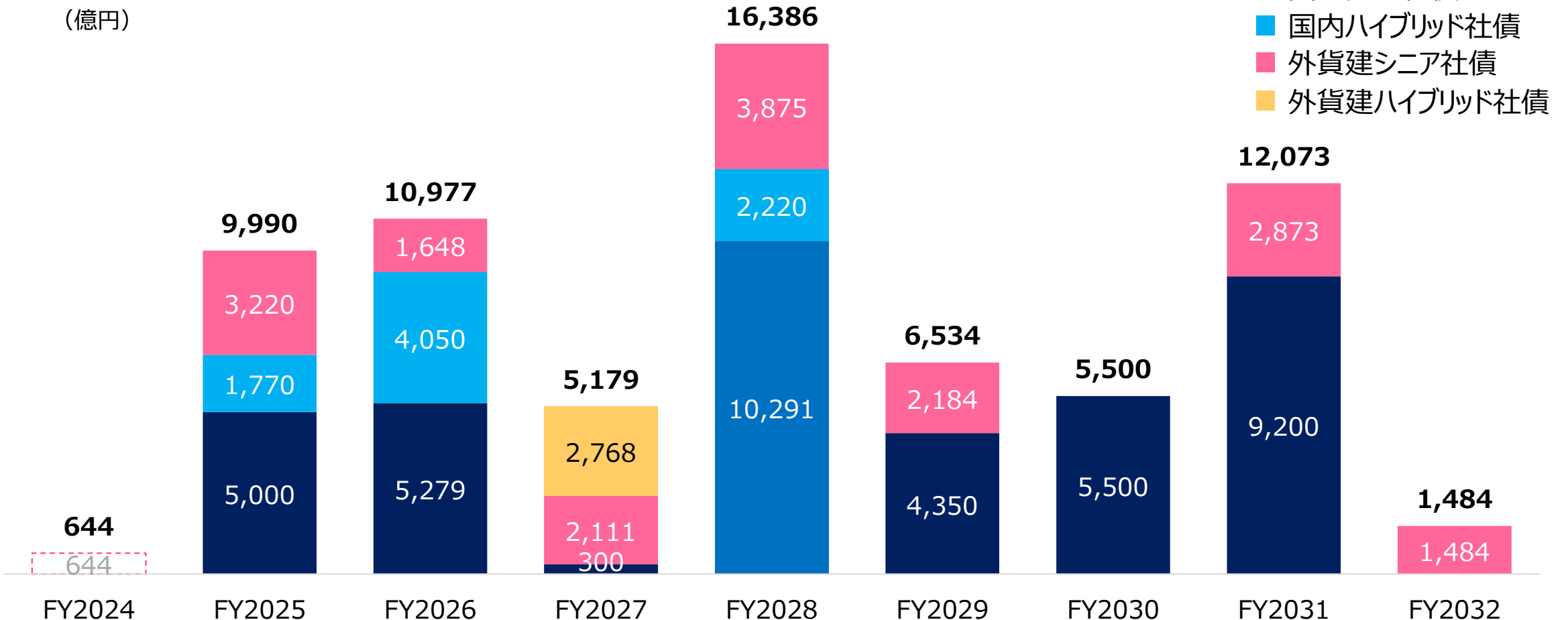
* 2024年12月末時点。アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコムを含む。アセットバック・ファイナンスを除く。アーム株式取引対価未払金控除前

社債償還スケジュール

今年度のリファイナンスは完了

今後は手元流動性および市場環境を考慮した起債運営を実施

(億円)

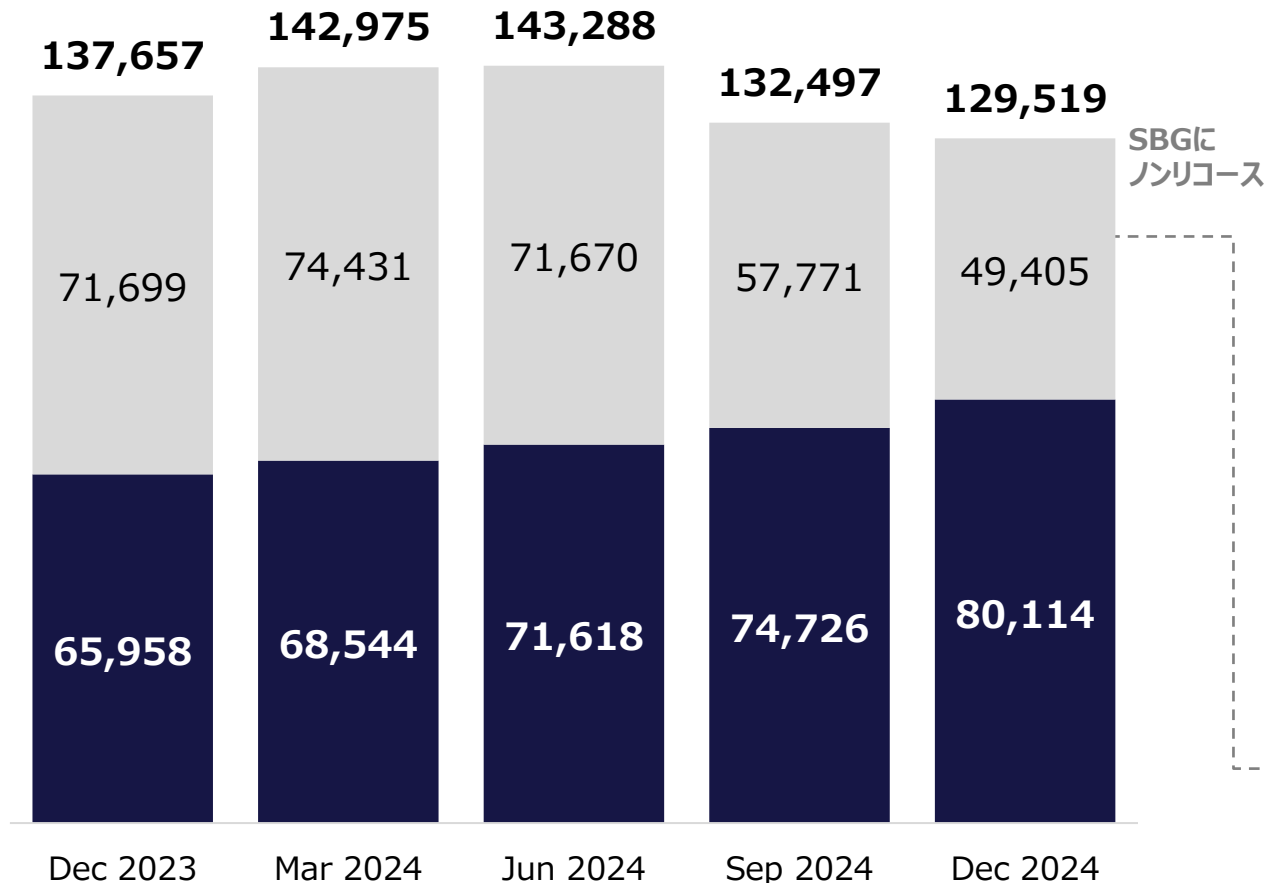


- 2024年12月末時点発行残高。2025年1月償還の外貨建シニア社債（644億円）は点線で表示。
- ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
- 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=158.18円、1ユーロ=164.92円にて換算

SBG単体 有利子負債*1

アリババ株式を活用した先渡売買契約の現物決済等により有利子負債は減少
一方、国内債発行や為替影響によりSBG単体有利子負債は増加

(億円)



2024年9月末からの主な変動要因	
・株式先渡契約金融負債の減少	-9,778億円
・国内リテールシニア債の発行による増加	+3,500億円
・ハイブリッドローンの借入れ・返済による増加	+510億円
・為替影響（株式先渡契約金融負債除く）	+3,193億円*2

2024年12月末 内訳 (億円)		
	対9月末	
SBG 借入金		
銀行借入	8,173	+615
ハイブリッドローン	1,840	+484
小計	10,013	+1,099
SBG 社債・CP		
国内シニア債	29,421	+3,473
国内劣後債	10,206	+5
国内ハイブリッド債	7,923	+1
外債	20,555	+1,415
CP	1,340	-640
小計	69,445	+4,254
SBG リース負債	83	-3
子会社 有利子負債		
株式先渡契約金融負債	26,120	-9,778
ドイツテレコム株式を活用したカラー取引	4,982	+139
ソフトバンク株式を活用したマージンローン	4,998	+3
アーム株式を活用したマージンローン	13,306	+1,269
その他	572	+38
小計	49,978	-8,328
合計	129,519	-2,978

*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

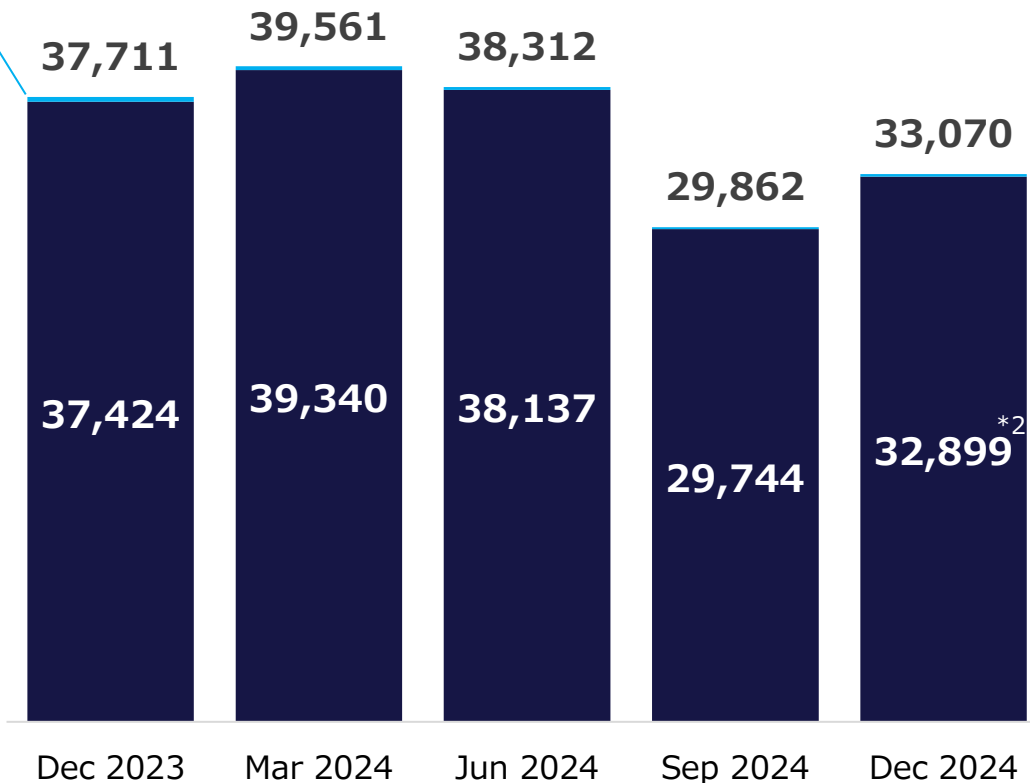
*2 為替影響は概算値

SBG単体 手元流動性

リテール債発行や円安影響により単体手元流動性は増加

(億円)

SB Northstar



2024年9月末からの主な変動要因	
増加	減少
<ul style="list-style-type: none"> ・社債の発行 (+3,500億円) ・ハイブリッドローンの借入れ・返済による純増 (+510億円) ・為替影響 (+2,512億円) *1 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規投資・SVFへの拠出金等 (-\$1.2B) ・自社株買い (-531億円) ・利息・配当・税金の支払等 (-1,517億円)

・ 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等) + 債券投資。SBG単体ベース

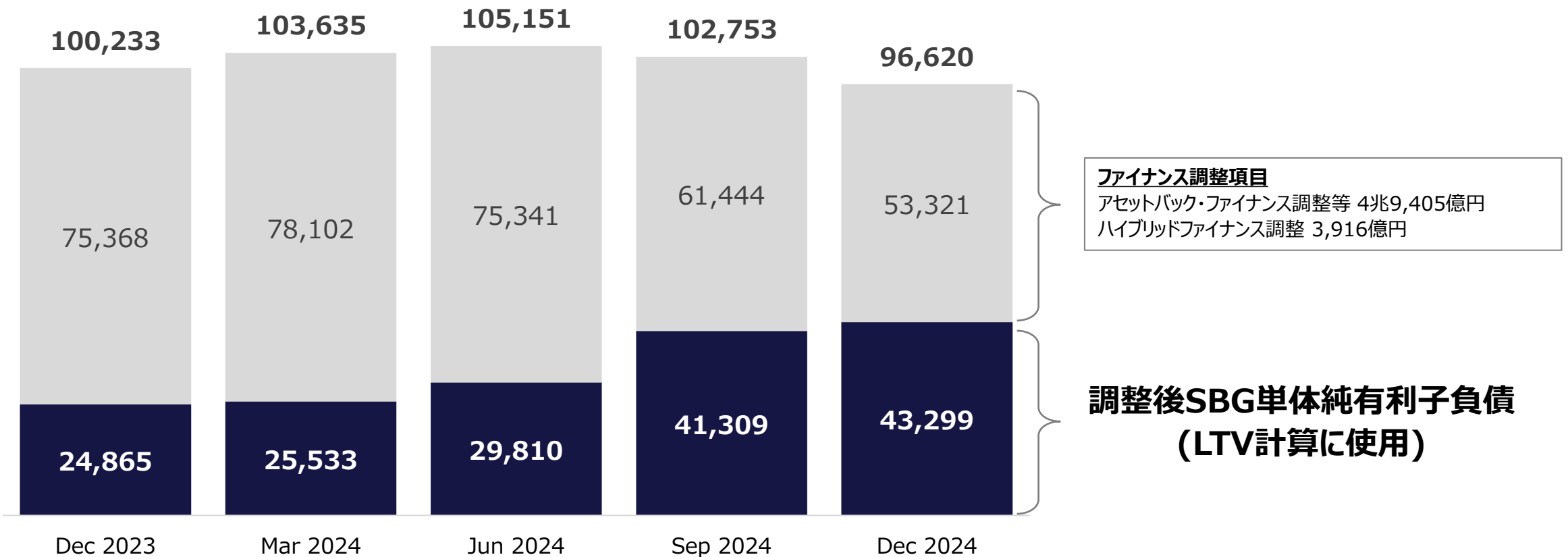
*1 為替影響は概算値

*2 2024年度Q3に完了したSVF2への投資移管に伴う資金回収見込み額を含む

SBG単体 純有利子負債

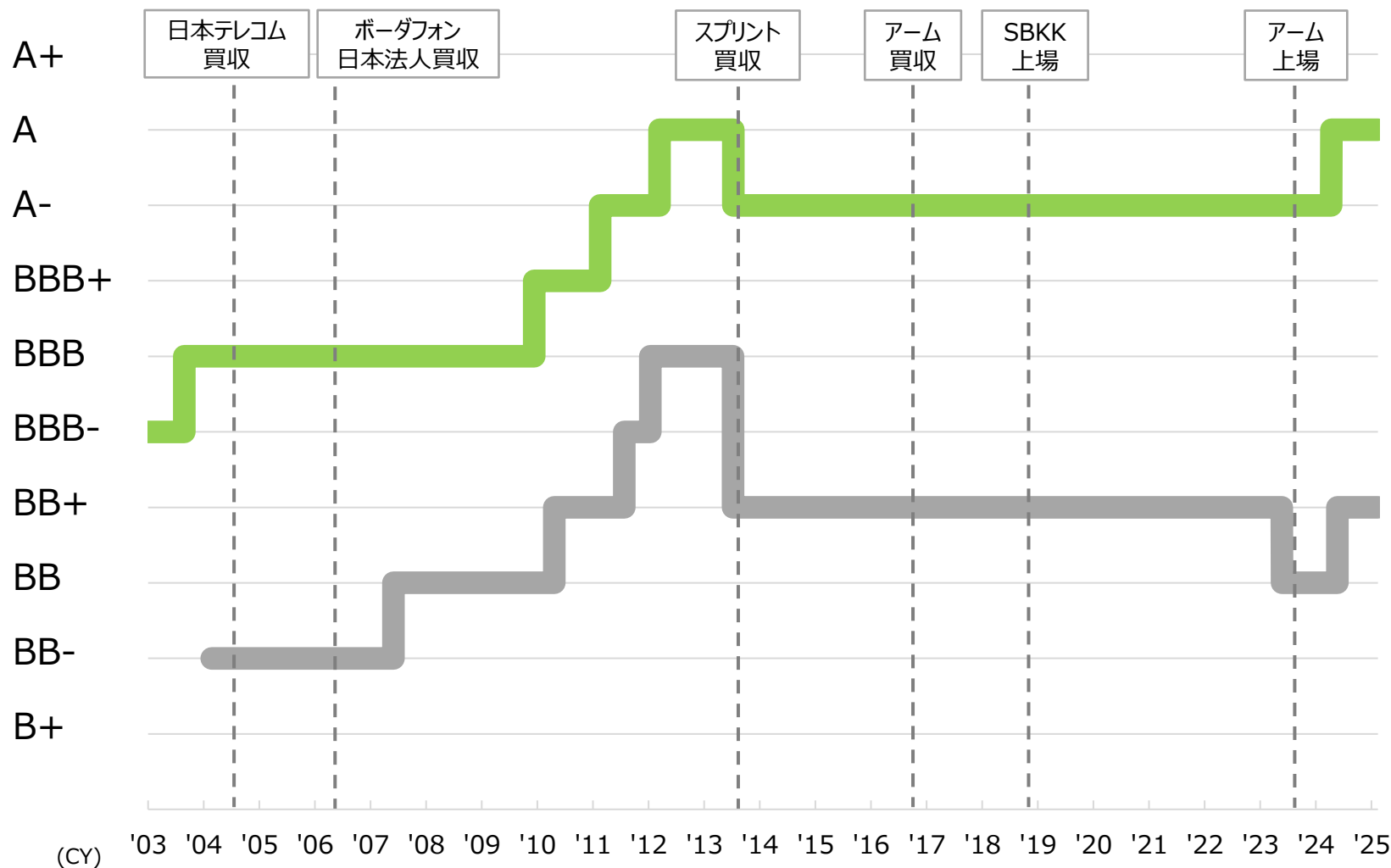
グロスデットの増加により、調整後SBG単体純有利子負債は増加

(億円)



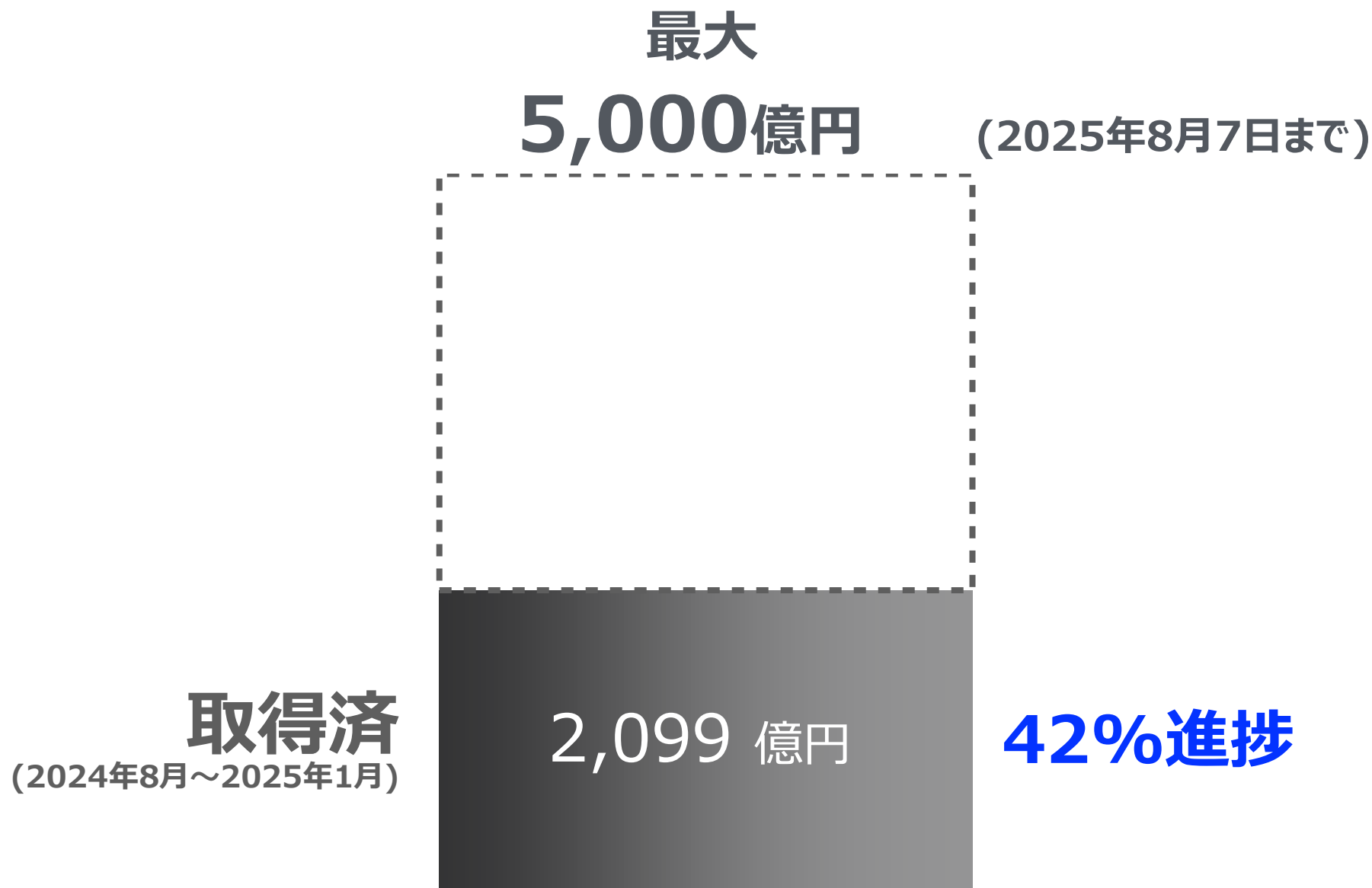
(注) 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

SBGの格付推移



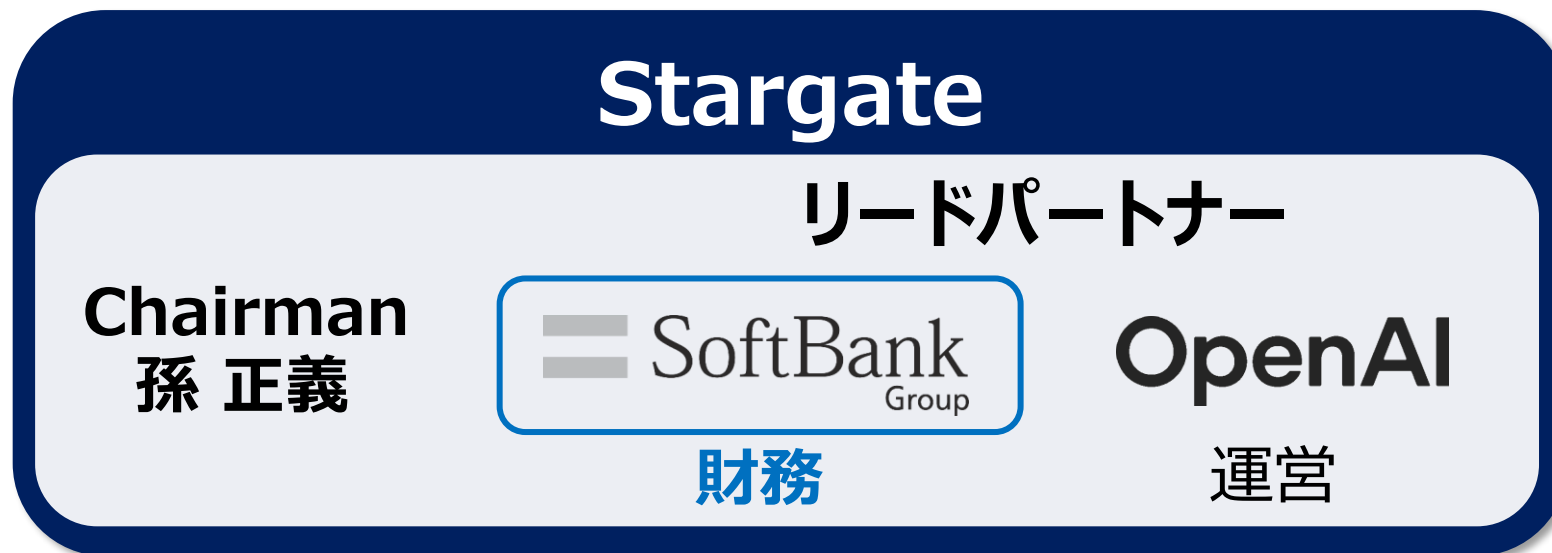
JCR
A
(安定的)

S&P
BB+
(安定的)



(注) 2024年8月7日の取締役会で決議された自己株式の取得枠。詳細は、2024年8月7日付プレスリリース「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」を参照

OpenAIのためのAIインフラを構築



出資者



主要テクノロジーパートナー



Stargate Project : イメージ



エクイティ出資

Stargate

エクイティ出資

プロジェクト
ファイナンス

レンダー/
デット投資家

(例)

- 銀行
 - 保険会社
 - 年金
 - ファンド
- など

プロジェクト
1

プロジェクト
2

プロジェクト
3

プロジェクト
4

.....

データセンター

データセンター

データセンター

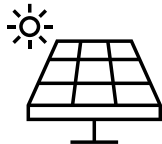

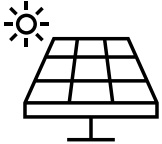
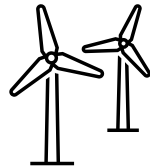
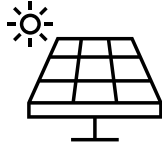
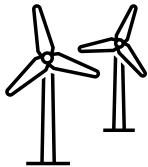
データセンター

構築・所有

.....

当社グループのプロジェクトファイナンス実績

日米印を中心に幅広く展開してきた実績

	米国	日本	インド
オリジネーター	SB Energy	SBIナジー ^{*1}	SB Energy India ^{*1}
プロジェクト総額	\$4,438M	2,186億円	\$2,119M ^{*2}
件数	10件	16件	8件
SBGエクイティ	8-18% ^{*3}	5-10% ^{*4}	16-21%
事業	  (太陽光) (蓄電設備)	  (太陽光) (風力)	  (太陽光) (風力)

*1 SBIナジーは2023年に豊田通商へ売却。SB Energy Indiaは2021年にAdani Green Energyへ売却

*2 組成時の為替レートにて換算

*3 SB Energyが開発初期より関与していない案件は除く

*4 SBIナジーがマイノリティ出資の案件は除く

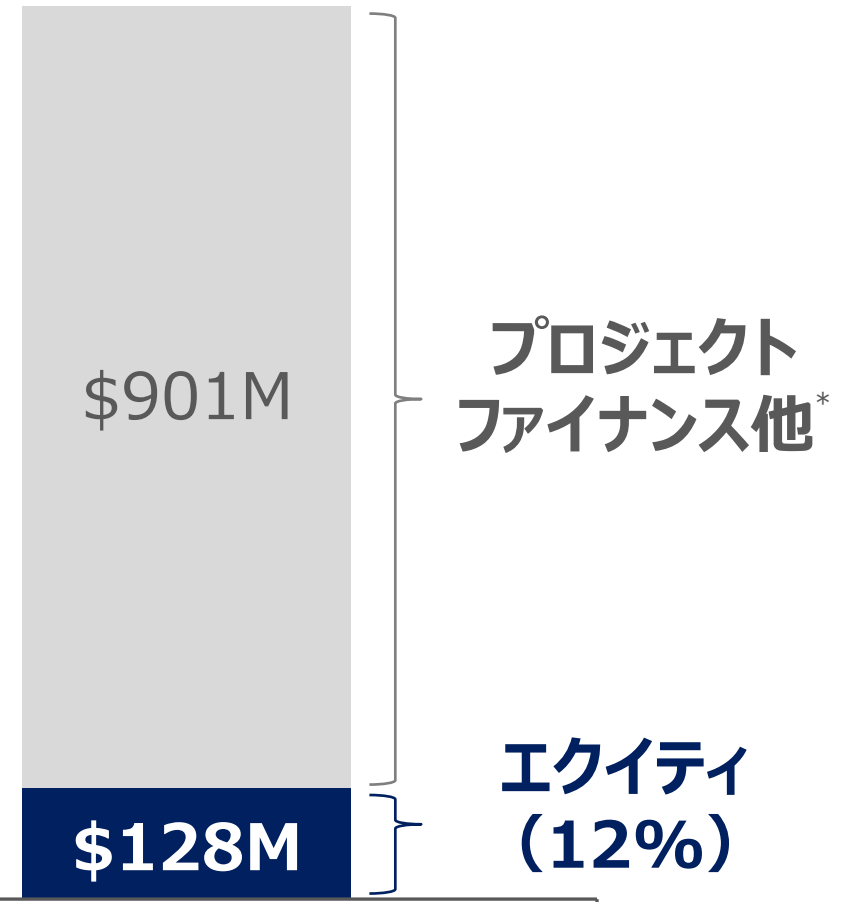
プロジェクトファイナンスのケーススタディ

エクイティ出資割合はおおむね5~20%と低位

オリジネーター	SB Energy
実行時期	2024年
所在地	米テキサス州
キャパシティー	太陽光発電 904MW _{DC}



プロジェクト総額
\$1,029M



* Tax Equity (税額控除投資：米国内の再生可能エネルギー事業における税額控除を対価に参加する出資) を含む

当社グループの資金調達の歩み（1995年～）

保有資産をフル活用して多様なファイナンスを実行
 調達チャンネルは邦銀中心からグローバルへ



* 連結ベース。1995年度から2023年度までの調達額を集計。1995年度から1999年度まで：社債発行額の合計額。2000年度から2023年度まで：有利子負債の収入および短期有利子負債の収支の合計額（IFRS）。上図では代表的なファイナンス実績を抜粋

1 通常時 **LTV25%未満** で運用（異常時でも上限35%）

2 少なくとも **2年分の社債償還資金** を保持

3 SVFや子会社から **継続的な配当収入** を確保

財務理念

投資戦略と
シンクロした財務運営

財務原則

- ・財務方針の堅持
- ・あらゆる環境変化へ柔軟に対応
- ・各ステークホルダーとの信頼関係構築
(株主還元と財務改善の最適なバランスを追求)

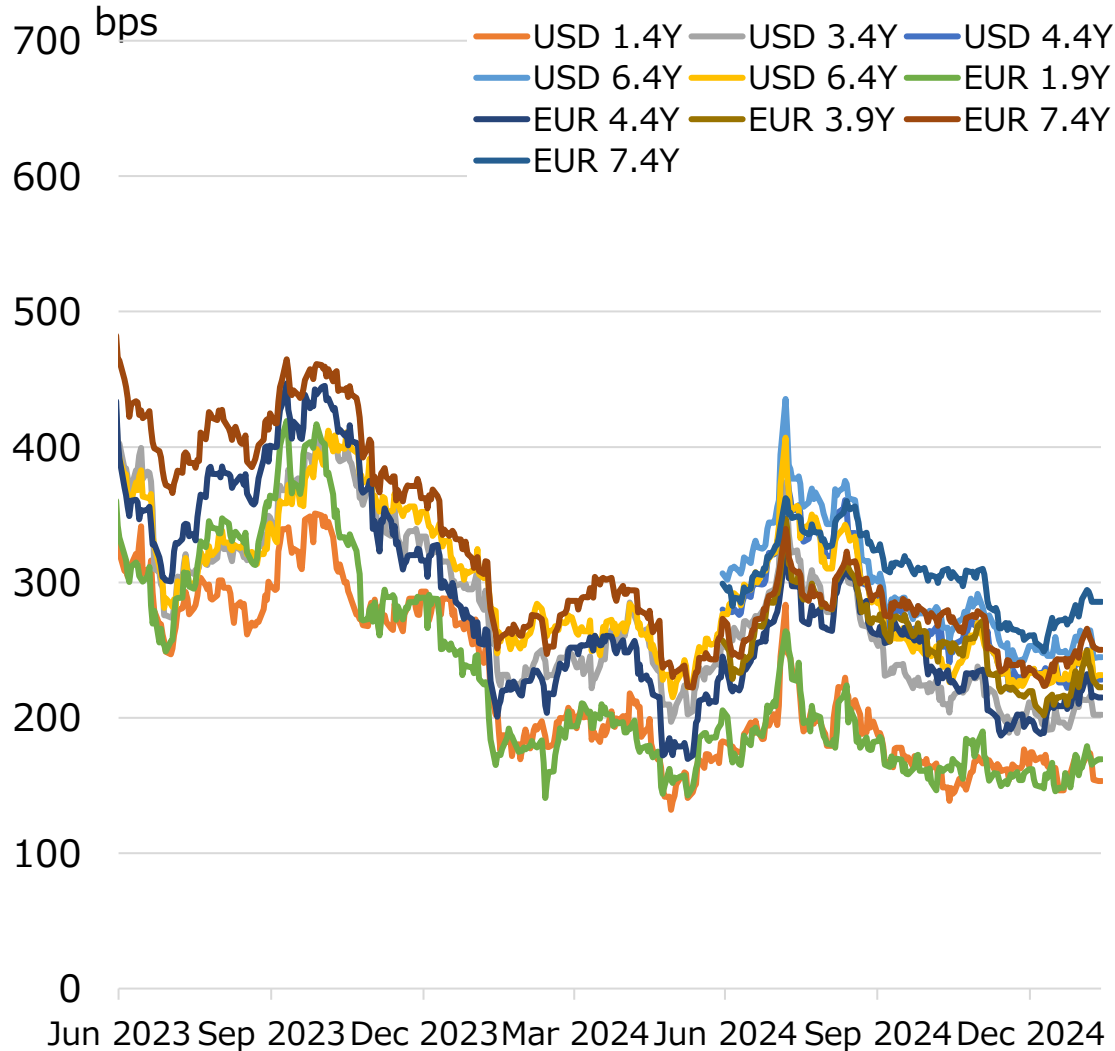
FY24 財務戦略

将来NAV拡大のための成長投資を最優先

1. 潤沢な手元流動性の有効活用
2. 戦略投資を支えるノンリコース調達の積極活用
3. ポートフォリオのモニタリング強化→回収と再投資

Appendix

シニア外債スプレッド



5年CDS



(注) 2025年2月11日時点。BloombergおよびCapital IQを基に当社作成。2021年7月および2024年7月発行のシニア外債のZスプレッドを参照

2024年12月末：保有株式価値（算出方法）

1USD=158.18円

(兆円)

38.7兆円
(調整前)

保有株式価値
(調整後)

保有株式価値
(調整前)

アセットバック・ファイナンス
調整額

マージンローン
1.3兆円

株式先渡契約等
2.6兆円

マージンローン
0.5兆円

カラー取引
0.7兆円

33.7兆円
(調整後)

株式先渡契約等 3.2

マージンローン 1.8

アーム 15.4

アリババ 0.01

SBKK 3.3

SVF1 3.9

SVF2 4.5

LatAmファンド 1.0

Tモバイル 3.0

その他 2.1

ドイツテレコム
0.4

15.4兆円 =

0.01兆円 =

3.3兆円 =

3.9兆円 =

4.5兆円 =

1.0兆円 =

3.0兆円 =

0.4兆円 =

16.7兆円 = 保有株式数 923百万株*1 × 株価 \$123.36*1 - 取引対価未払金*2

2.6兆円 = 保有株式数 191百万株*1 × 株価 \$84.79*1

3.8兆円 = 保有株式数 19,149百万株 × 株価 198.9円

3.9兆円 =

4.5兆円 = 各ファンドの保有資産価値相当 × SBG持分

1.0兆円 = + 成功報酬等

3.0兆円 = 保有株式数 85百万株 × 株価 \$220.73

1.1兆円 = 保有株式数 225百万株 × 株価 €28.89

(注) 各計算式の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

*1 SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数および同証券の株価

*2 SVF1からのアーム株式買取に伴う未払金79億米ドル（1.26兆円相当）

Dec 2024

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債

4.33兆円

= 12.9%

(V) 調整後
SBG単体 保有株式価値*1

33.66兆円



	アーム	アリババ	SBKK	Tモバイル	ドイツテレコム
調整前	16.75*2	2.56	3.81	2.98	1.07
アセットバック・ファイナンス	-1.33	-2.55	-0.50	-	-0.69
調整後	15.42	0.01	3.31	2.98	0.38

SVF1	+3.95
SVF2	+4.52
LatAmファンド	+1.03

(注) 2024年12月末時点

*1 調整後SBG単体保有株式価値の各アセット別の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」を参照

*2 SBGの保有株式数×Arm株価（18.01兆円）-アーム取引対価未払金（1.26兆円）

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細①

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(a) アーム	15.42	
調整前	16.75	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価（18.01兆円） - SVF1からのアーム株式取得に伴う未払金（79億米ドル;1.26兆円）
アセットバック・ファイナンス調整	-1.33	SBGが保有する同社株式を活用したマージンローンによる借入の負債残高相当額（1兆3,306億円）
(b) アリババ	0.01	
調整前	2.56	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価
アセットバック・ファイナンス調整	-2.55	複数の株式先渡し買契約（フォワード契約）のうち、未決済分の満期決済金額（2024年12月31日の同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額（2兆5,533億円）
(c) SBKK	3.31	
調整前	3.81	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.50	SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額（4,998億円）
(d) SVF1	3.95	SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
(e) SVF2	4.52	SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
(f) LatAmファンド	1.03	LatAmファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分+成功報酬の見込み金額等

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細②

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(g) Tモバイル	2.98	SBGの保有株式数×同社株価
(h) ドイツテレコム	0.38	
調整前	1.07	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.69	2021年10月に実行した同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額（6,924億円）
(i) その他*	2.07	上場株式：SBGの保有株式数×各上場株式の株価 非上場株式：SBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出 SB Northstar（上場株投資）：SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分
SBG単体 調整後保有株式価値	33.66	(a)～(i)までの合計額

(注) 2024年12月末時点

* SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く）はSBG単体純有利子負債の一部と見なし、SB NorthstarのNAVの算出には含めない。
 （同社のマージンローンおよびプライムブローカレッジローンの残高は、2024年12月末においていずれもゼロ）

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債

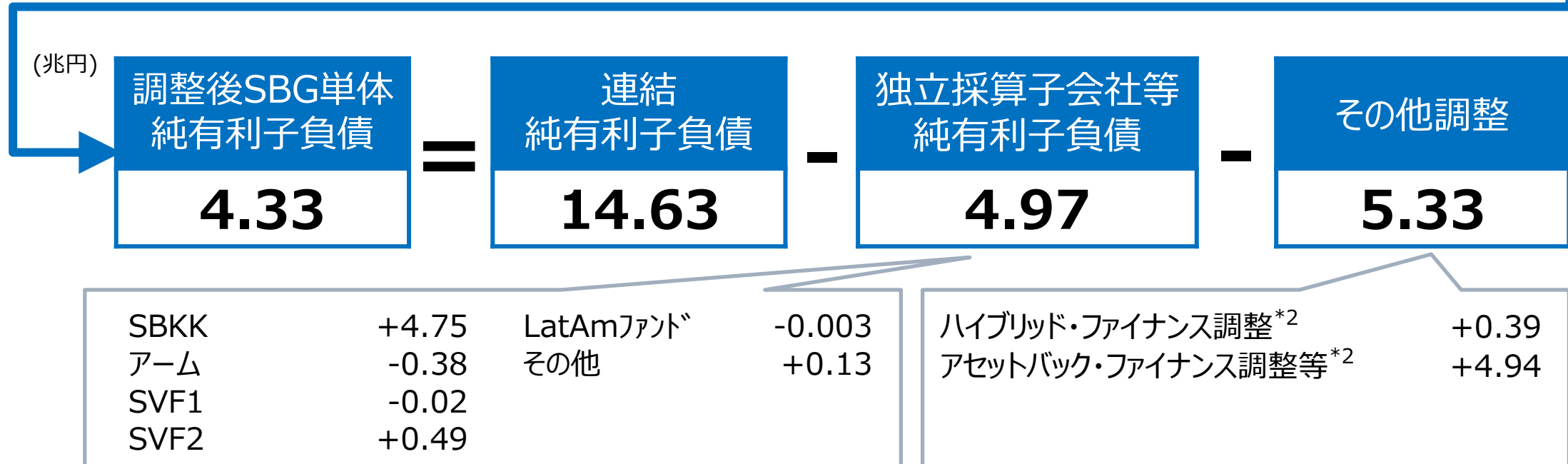
(L) 調整後
SBG単体 純有利子負債*1

4.33兆円

=12.9%

(V) 調整後SBG単体 保有株式価値

33.66兆円



(注) 2024年12月末時点

*1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。PayPay銀行の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない。

*2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細

(兆円)

SBG単体 調整前純有利子負債	9.66	連結純有利子負債 - 独立採算子会社等^{*1}の純有利子負債
ハイブリッドファイナンス調整	-0.39	ハイブリッド債およびハイブリッドローンについて、期限付きのものは連結会計上、全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除、永久債については連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入。
アセットバック・ファイナンス調整等	-4.94	
アーム	-1.33	同社株式を活用したマージンローンによる借入の負債残高相当額（1兆3,306億円）
SBKK	-0.50	SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額（4,998億円）
ドイツテレコム	-0.50	2021年10月に実行したドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額（4,982億円）
アリババ	-2.61	アリババ株式を活用した複数の株式先渡売買契約（フォワード契約）に係る株式先渡契約金融負債（2兆6,120億円）
SBG単体 調整後純有利子負債	4.33	

(注) 2024年12月末時点

・ 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性

・ 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資

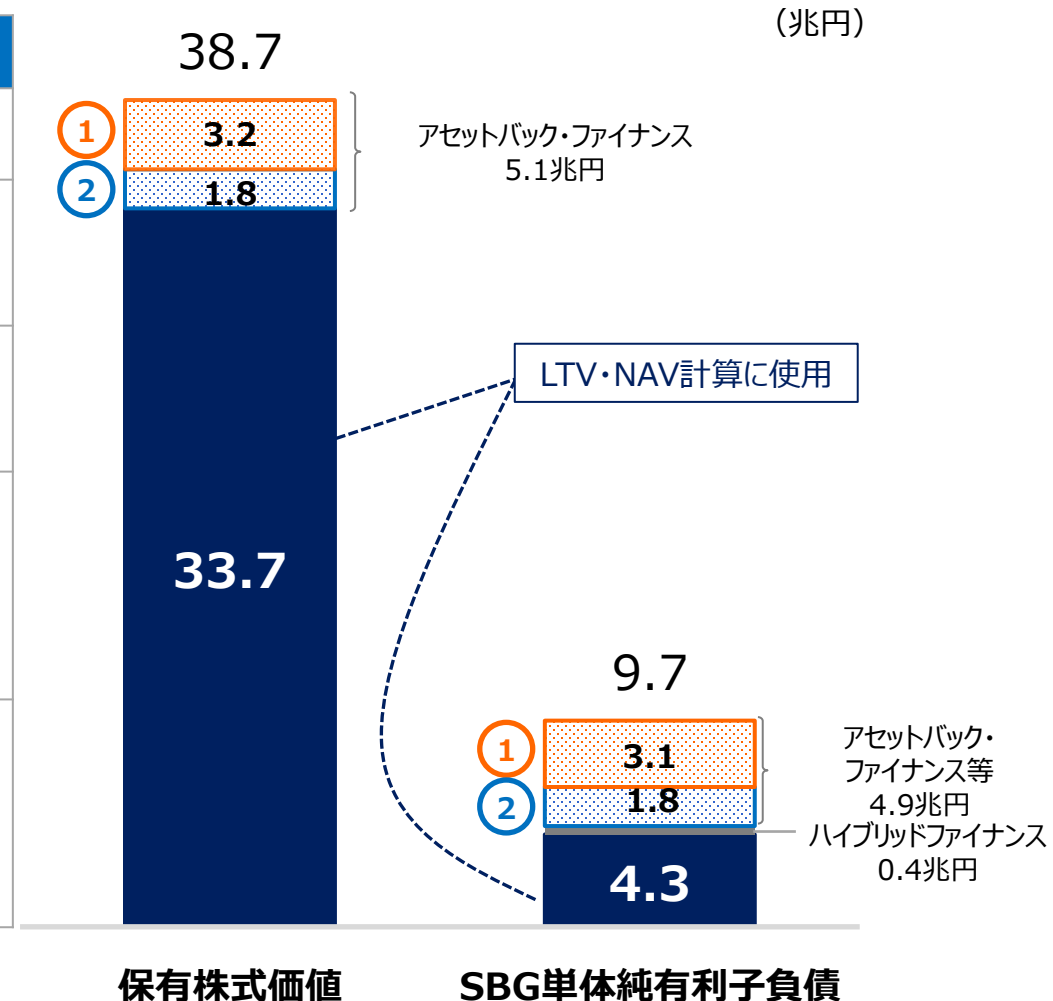
*1 独立採算子会社等はSB Northstarを含む。ただし、SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く）はSBG単体純有利子負債に含める。

（同社のマージンローンおよびプライムブローカレッジローンの残高は、2024年12月末においていずれもゼロ）

LTV・NAV計算におけるアセットバック・ファイナンス調整

ノンリコースのアセットバック・ファイナンスはデットから控除
同時に、決済に必要となるアセット価値をアセットから控除

	① フォワード／カラー	② マージンローン
主な対象株式	アリババ／ドイツテレコム	SBKK／アーム
内容	株式先渡契約*に基づく資金調達 (SBGにノンリコース)	株式を担保に借入を行う資金調達 (SBGにノンリコース)
デット控除額	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変 	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変
アセット控除額	<ul style="list-style-type: none"> ・期末株価を基に算出した満期決済金額の想定額 ・株価水準によって変動 	返済に必要なアセット相当額 (バランスシート上のデット計上額)
株価下落の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア価格を下回る株価では受渡金額が減少 ・追加担保等や期限前返済は不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の株価水準を下回る場合、追加担保や期限前返済が必要 ・返済金額は不変



(注) 2024年12月末時点

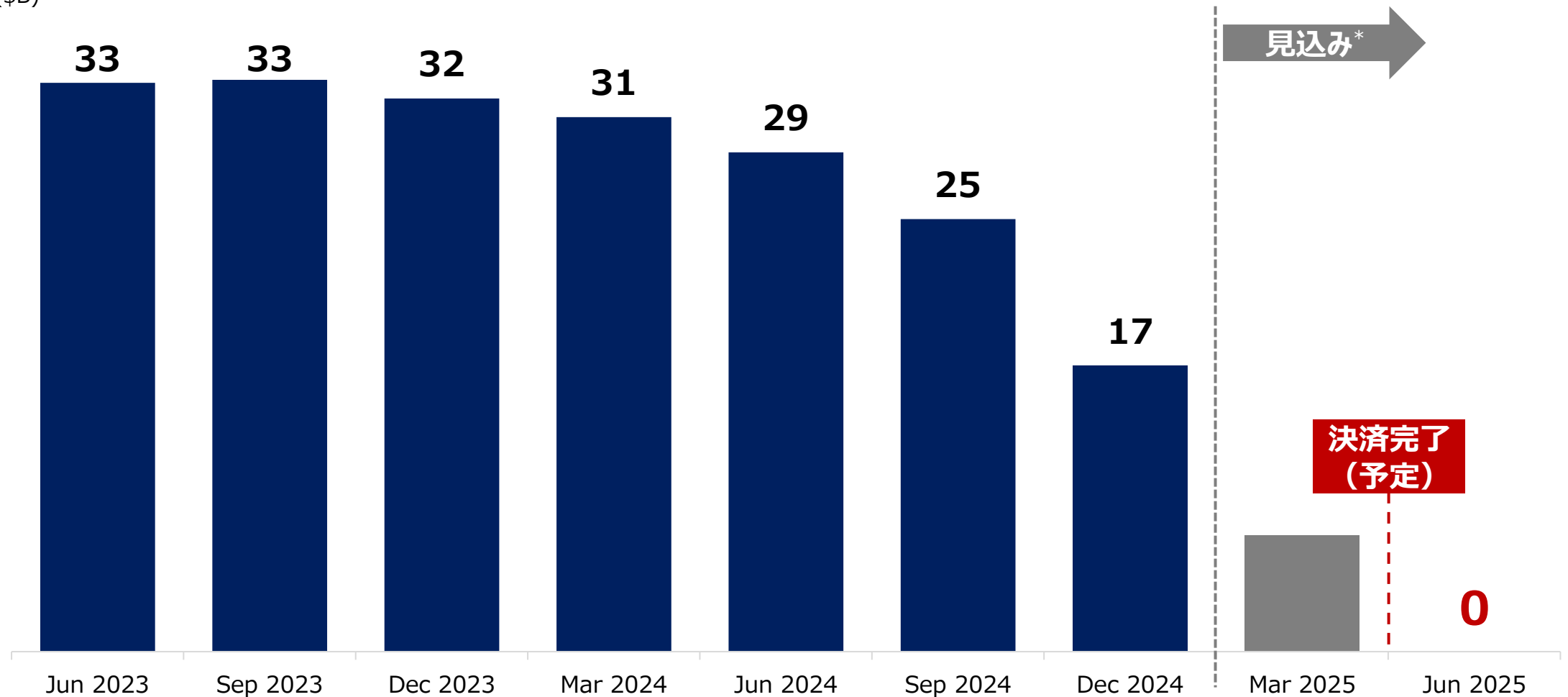
* あらかじめ合意された価格 (フォワード) または価格レンジ (カラー) で満期に対象株式を売買する契約を締結する。

アリババ資金化に係る株式先渡契約金融負債残高

2025年6月までに全案件の決済が完了予定

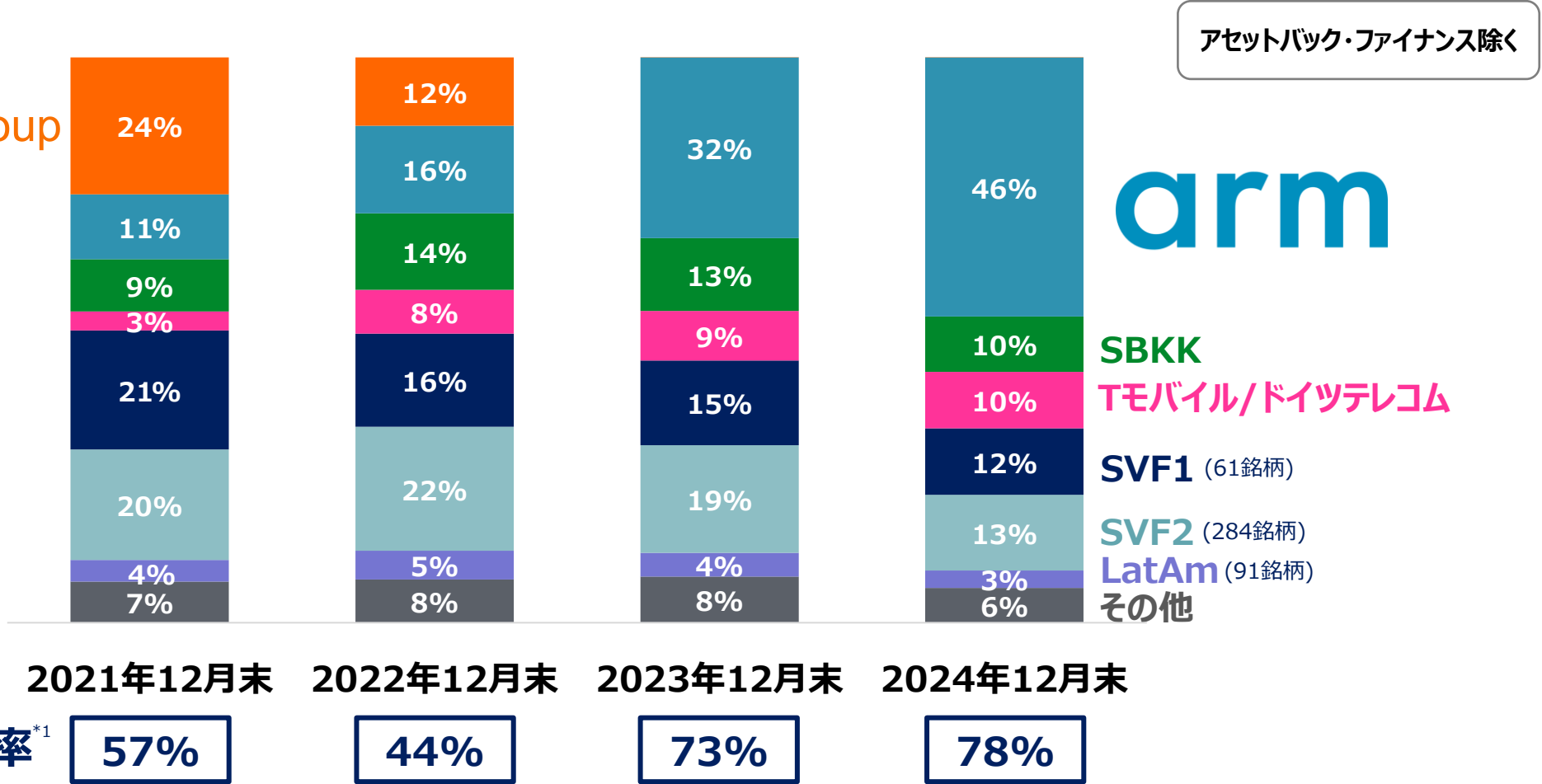
アリババ資金化に係る株式先渡契約金融負債残高（四半期ベース）

(\$B)



* 契約で定めた期日に決済をする場合の想定残高であり、当社試算値

保有株式価値の内訳

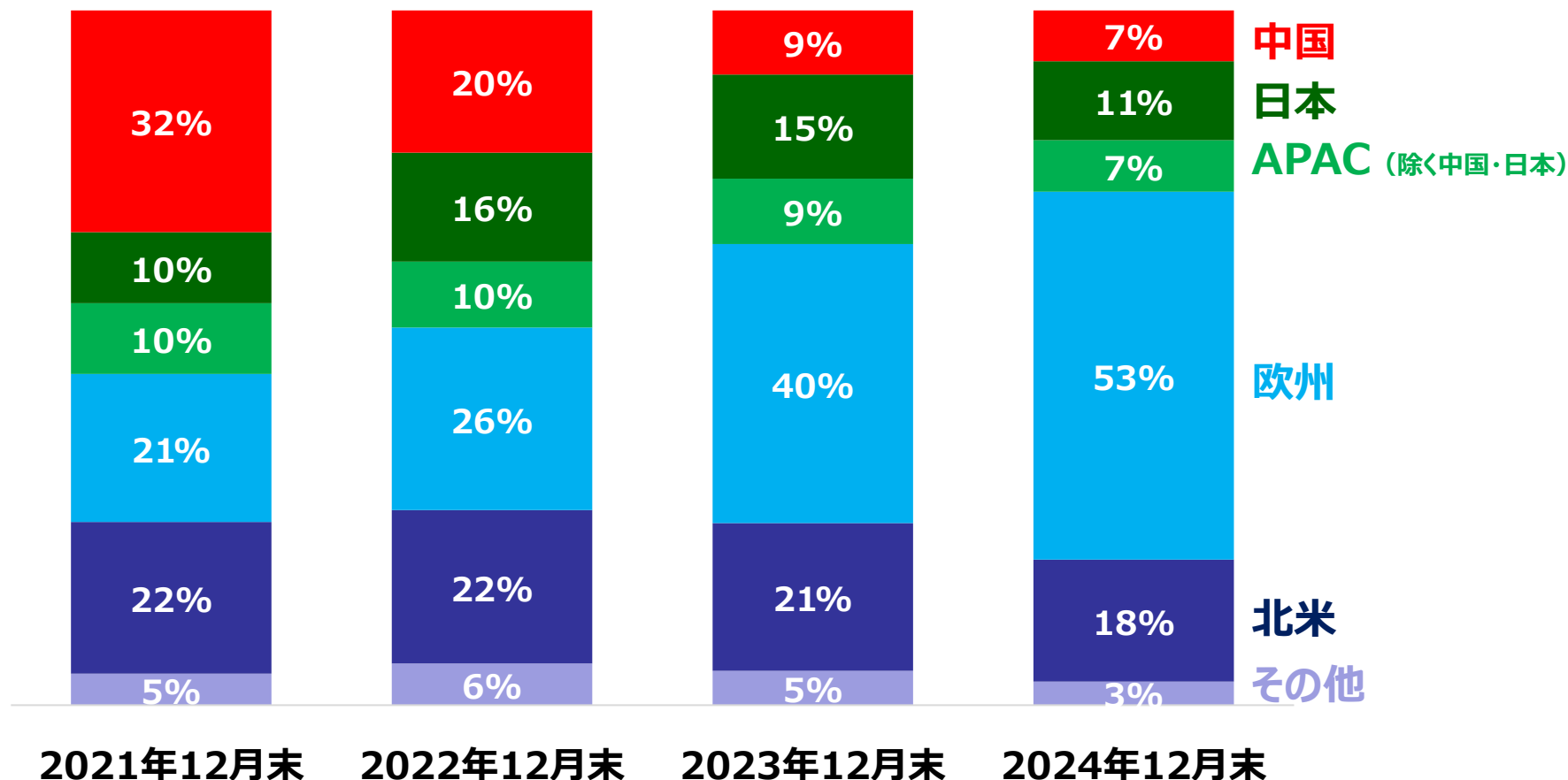


(注) 保有株式価値の各12月末時点の詳細は、各四半期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendixを参照

*1 アリババ、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、およびその他のうちの上場株式を含む。アームは2023年9月に上場(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)

ポートフォリオの地域分散

アセットバック・ファイナンス除く



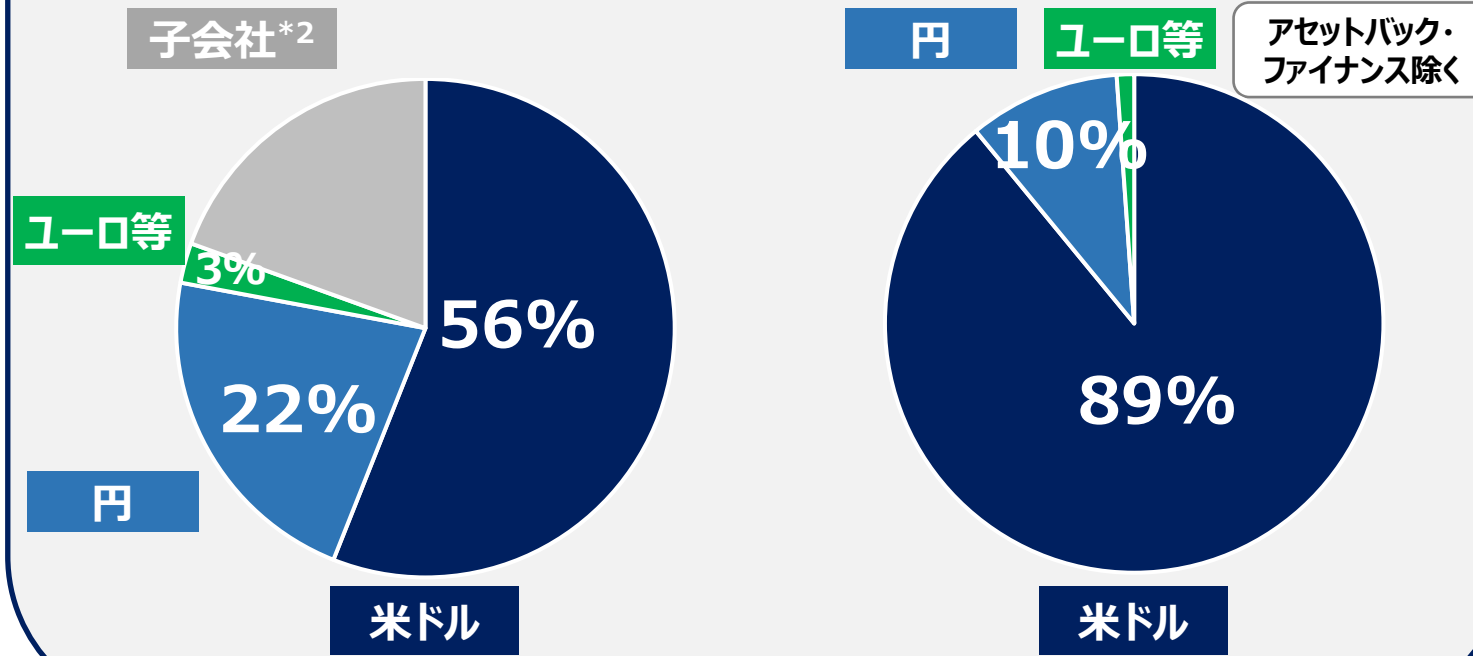
(注) 各投資先の本社所在地に基づき地域を分類
 中国：アリババ、SVF1・SVF2（中国相当）およびその他の中国投資の合計、日本：ソフトバンク、SVF1・SVF2(日本相当)およびその他の日本投資の合計
 APAC（除く中国・日本）：SVF1・SVF2（中国・日本を除くAPAC相当）およびその他の中国・日本を除くAPAC投資の合計
 欧州：アーム、ドイツテレコム、SVF1・SVF2（欧州相当）およびその他の欧州の投資等の合計、北米：TEモバイル、SVF1・SVF2（北米相当）およびその他の北米投資の合計
 その他：本社所在地が中国、日本、APAC、欧州、北米以外への投資の合計

通貨内訳

投資と資金化のフローは大半がドルベース、負債は原則同通貨でのリファイナンスを想定

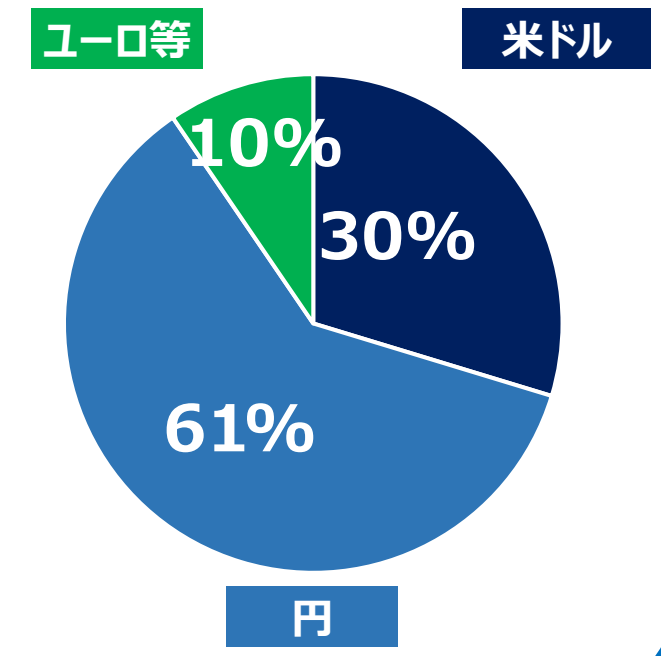
投資と資金化

手元流動性：3.3兆円^{*1*2} 保有株式価値：33.7兆円^{*3}



負債構成

有利子負債^{*4}：7.9兆円



(注) 2024年12月末時点。1ドル=158.18円、1ユーロ=164.92円を前提に、円換算

*1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物並びに債券投資は含む。)

*2 2024年度Q3に完了したSVF2への投資移管に伴う資金回収見込み額を含む

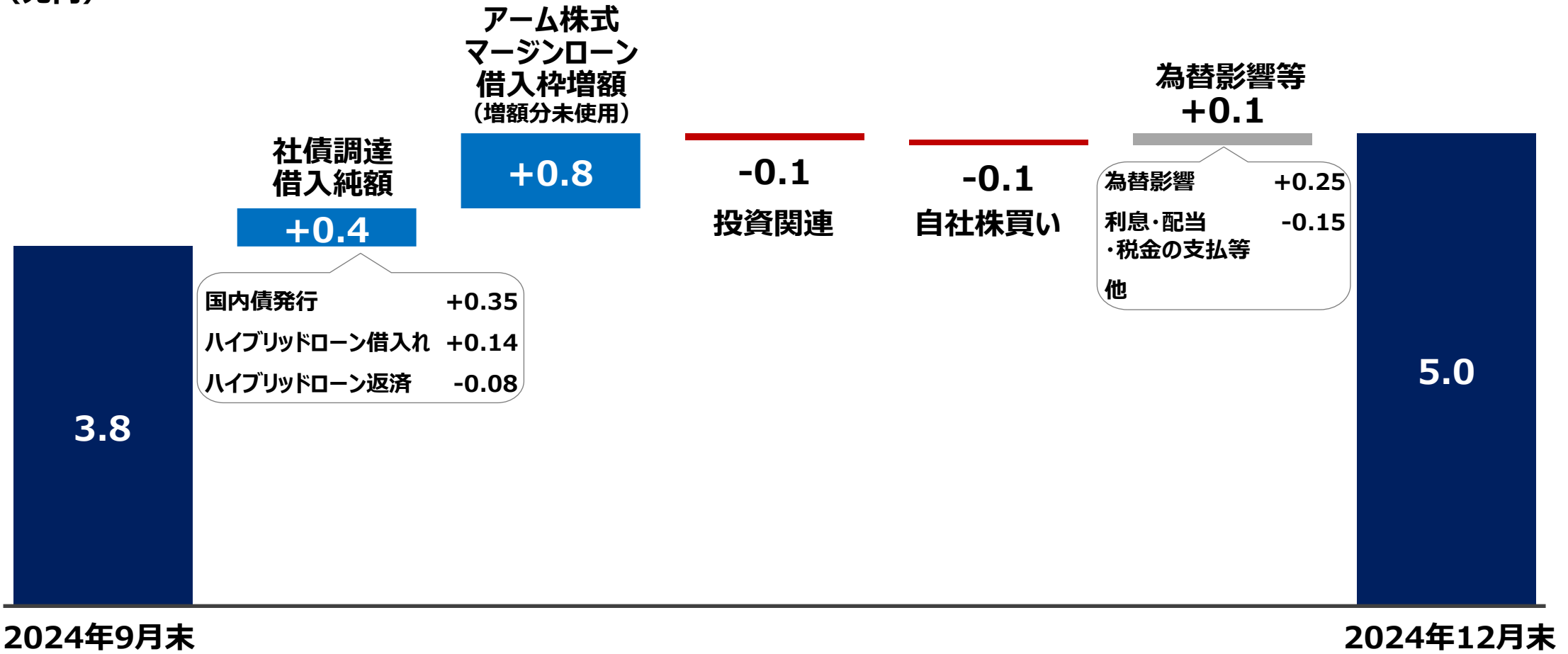
*3 SBG単体保有株式価値。詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体保有株式価値」を参照。SVF1、SVF2、LatAmは全て米ドルとして計算

*4 2024年12月末時点のSBG単体有利子負債 (SBG単体有利子負債のうち、ノンリコースの有利子負債および子会社有利子負債の「その他」を除く。詳細は本編「SBG単体 有利子負債」を参照)

手元流動性増減要因 (FY2024Q3)

アーム株式マージンローンの増額や社債発行を主因に手元流動性は増加

(兆円)



- 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + 借入枠の未使用金額 (コミットメントラインおよびアーム株式を活用したマージンローン)。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物ならびに債券投資は含む。)
- 2024年12月末時点でコミットメントラインの全額 (9,001億円相当) およびアーム株式を活用したマージンローンの借入枠のうち\$5.0B (7,909億円相当) は未使用
- 2024年12月末時点の手元流動性は2024年度Q3に完了したSVF2への投資移管に伴う資金回収見込み額を含む

連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債*1

(単位:億円)

	Dec 2023	Mar 2024	Jun 2024	Sep 2024	Dec 2024
SBG単体	137,657	142,975	143,288	132,497	129,519
うち、SB Northstar	-	-	-	-	-
SVF1&2、LatAmファンド	5,132	5,479	5,831	5,083	5,404
ソフトバンク事業	64,719	63,211	66,420	62,632	62,158
その他（アーム等）	1,839	1,956	461	3,059	3,182
合計	209,347	213,620	215,999	203,271	200,263

連結手元流動性*2

(単位:億円)

	Dec 2023	Mar 2024	Jun 2024	Sep 2024	Dec 2024
SBG単体	37,711	39,561	38,312	29,862	31,769
うち、SB Northstar	287	222	176	118	171
SVF1&2、LatAmファンド	657	1,760	727	870	720
ソフトバンク事業	18,650	17,923	16,507	13,693	14,641
その他（アーム等）	4,693	5,523	4,261	4,506	6,791
合計	61,710	64,768	59,808	48,931	53,921

連結純有利子負債*3

(単位:億円)

	Dec 2023	Mar 2024	Jun 2024	Sep 2024	Dec 2024
SBG単体	99,946	103,413	104,976	102,635	97,750
うち、SB Northstar	-287	-222	-176	-118	-171
SVF1&2、LatAmファンド	4,476	3,719	5,104	4,213	4,684
ソフトバンク事業	46,069	45,287	49,913	48,939	47,517
その他（アーム等）	-2,854	-3,567	-3,801	-1,447	-3,610
合計	147,637	148,852	156,191	154,340	146,342

*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。PayPay銀行の銀行業の預金は含まない。

*2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等) + 債券投資。SBG単体ベース。PayPay銀行の手元流動性は含まない。

*3 PayPay銀行の「銀行業の預金 - 手元流動性」は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ。2024年度Q3に完了したSVF2への投資移管に伴う資金回収見込み額を含まないため、本編P20「SBG単体 純有利子負債」と差異が生じる。